

公益社団法人日本技術士会栃木県支部令和2年度活動方針について

支部長 黒須重富

栃木県支部の発足以来9年目を迎えました。この間、数多くの会員の皆様のご努力により、着実な支部活動を実践して参りました。今年度も、これまでの実績を踏まえながら、幹事一同力を併せて、以下の理念と基本方針のもとに支部活を展開して参ります。

I. 公益社団法人日本技術士会の目的に沿った支部活動の理念

本支部は、技術士の品位の保持、資質の向上及び業務の推進改善を図るため、技術士の研修並びに会員の指導及び連絡に関する業務を行い、もって科学技術の向上及び国民経済の発展並びに国際交流の推進に寄与し、更には広く社会に貢献する支部活動を理念とする。

II. 県支部活動方針

- ① 栃木県支部活動8年間の実績を踏まえ、“会員の顔が見える会”をモットーに、会員の拡大による支部の強化とともに、会員及び協賛団体のためにCPD講座、見学会、研修会を充実させる。
- ② “地域の人と文化と技術をつなぐ架け橋”となるよう市町等が抱える課題に対して社会貢献活動を展開する。特に、市貝プロジェクトや宇都宮市・帝京大学等での理科教育活動に尽力することで、地域社会と架け橋になるモデルを実践する。
- ③ 中小企業を支援する業務の拡大を図る。そのために、金融機関や企業をサポートする関係機関に、支部活動として技術士業務の案内や支援内容を紹介するとともに、依頼された業務の質の向上に努める。
- ④ 中国浙江省科技交流和人材服務中心と浙江同済科技職業学院と、引き続き技術交流を深め、具体的な成果に結び付ける。
- ⑤ 以上の方針に沿う活動は、Speedy(スピード感)、Strategic(戦略性)、Sensitive(感受性)、with Smile(笑顔)の4Sに心がける。

以 上